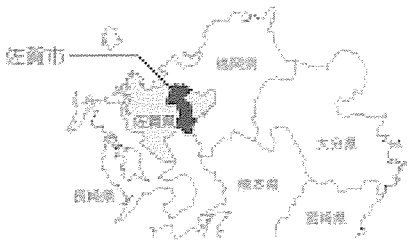


The Scene of SAGA City Hina Festa

はじめに

「佐賀城下ひなまつり」が実施されている佐賀県は日本の南西部、九州の北部に位置している。県庁所在地である佐賀市は、2005年・2007年の市町村合併により、面積431.42km²人口241,341人となった。市域の北半分は脊振山地に含まれているため標高の高い地形、南側は標高100m以下の佐賀平野と呼ばれる沖積平野である。また、南側は有明海と面していることもあり、その地形がもたらす自然によって、豊かな食文化も生まれている。



地域的には、

- 「北部域に広がる森林や山地の自然、温泉、農村の山麓ゾーン」
- 「城下町の歴史や水と調和した人々の生活がある都市ゾーン」
- 「南部の有明海や筑後川などの自然や文化を有する自然と農業・水産加工業ゾーン」

と分けられ、幅広い観光資源を来訪者に提供している。佐賀市への観光客の状況を見ると、佐賀市内からの観光客が31.8%、佐賀市以外の佐賀県内からの観光客は17.0%である。佐賀県内以外で最も多かったのは、福岡市からの観光客で13.3%である。九州

の人口の約2割を占めている福岡都市圏は九州最大のマーケットと考えられており、市町村合併や交通体系の整備などに伴い、福岡市と隣接することになった佐賀市には、今後更に、福岡都市圏から観光客を呼び込むことが期待されている。

【主な観光産業の来訪者数】

－観光施設－

- そよかぜ館 約113.6万人/年
- 県立佐賀城本丸歴史館 約22.6万人/年
- どんぐり村 約21.9万人/年
- 佐賀市歴史民俗館 約19.9万人/年
- 天山リゾート（スキー場）約18.5万人/年

－イベント－

- 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ 約79.8万人
- 佐賀城下栄の国まつり 約19.3万人
- 佐賀城下ひなまつり 約10.2万人

（以上のデータは2005年度佐賀市観光・文化課調べ）

ひなまつりと「ハレ」

日本を代表する民族学者柳田國男氏によって唱えられた「ハレ」（晴＝非日常）と「ケ」（曇＝日常）の概念で考えると、人々が日常の生活を送る中で、子どもの健やかな成長を願うものである「ひなまつり」は、「ハレ」の行事だといえる。日本には、中国から伝わった五節句があり、その内の陰暦3月3日の上巳（じょうし）の節句が“桃の節句”（ひなまつり）になったと言われている。ひなまつりは元々、高貴な生まれの女の子の厄除けと健康祈願としての「桃の節句」が庶民の間にも定着していったお祝い

